

簡易会議録

会 議 名	令和8年度 第1回 多機関代表者会議
開催日時	令和8年6月 23 日(火) 15:10~16:31 【81分】
開催場所	西尾市役所(本庁舎2階) 22 会議室
出席者	家庭児童支援課長、健康課長、生涯学習課長、子ども・若者総合相談センターコンパス事業責任者、福祉課主幹、白ばら園長、障がい者サポートセンターあると管理者、西尾保健所健康支援課長、長寿課主幹、高齢者サポートセンター寺津福地管理者、福祉課長、西尾市社会福祉協議会総務地域課長、民生委員児童委員協議会会長、西尾警察署生活安全課長、西尾公共職業安定所所長、つながりの輪支えあい事業スーパーバイザー (以上16名及び事務局6名)
欠席者	なし
議題とそれに対する主な質問・意見	(1) つなサポの利用実績及び今年度の事業計画について ①市外利用者が多いが⇒住民ではない遠方から仕事探しのための来訪者やホームレスなどの対応によるもの ②3時間以上という対応時間があるが⇒家庭訪問の移動時間や医療機関での待ち時間などを含めているため ③相談者が本人か家族かの把握はしているのか⇒今後要検討 ④会議開催の内容とつなサポミーティングとは ⑤つなぐシートの利用者は誰か ⑥つなサポの周知度はどのようにとらえているのか (2) 講話: つなサポができること～多機関協働が目指す姿と大切なこと ①支援機関責任者として支援を踏み出す勇気や決断が難しい⇒そこに迷ったらつなサポに相談(つなサポのコンサルテーション)。多問題のケースはまずはエコマップを簡易に作って支援機関の関係性や役割を明確に理解することを広めてほしい。それにより全ての機関を招集するサポート会議の開催の必要性はなくなる。 ②多問題のケースはつなサポが情報収集して整理してほしい⇒それを常につなサポが担っているとつなサポが疲弊する。ケースのテーマごとに集まる機関を選択すべきで、つなサポは情報収集ではなく分析を主とする後方支援機関である。 ③つなサポが多問題の司令塔になるべきではないか⇒つなサポはすべての司令塔になることは物理的にできないし、それを形式化すべきではない。つなサポは各支援機関とのサポート会議の実績(試行錯誤)を重ねながら、課題の細分化、テーマごとの連携協働のあり方を深めていけばよい。
そ の 他	会長にコンパス事業責任者、副会長に福祉課主幹を互選
記録作成者	福祉課つながりの輪支えあい推進室(つなサポ) 鈴木
作成日	令和8年6月24日
次回開催	令和9年3月18日(木) 15:10~ @市役所(5階) 51 会議室